

4. トラブルとその対応事例

4 – 1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

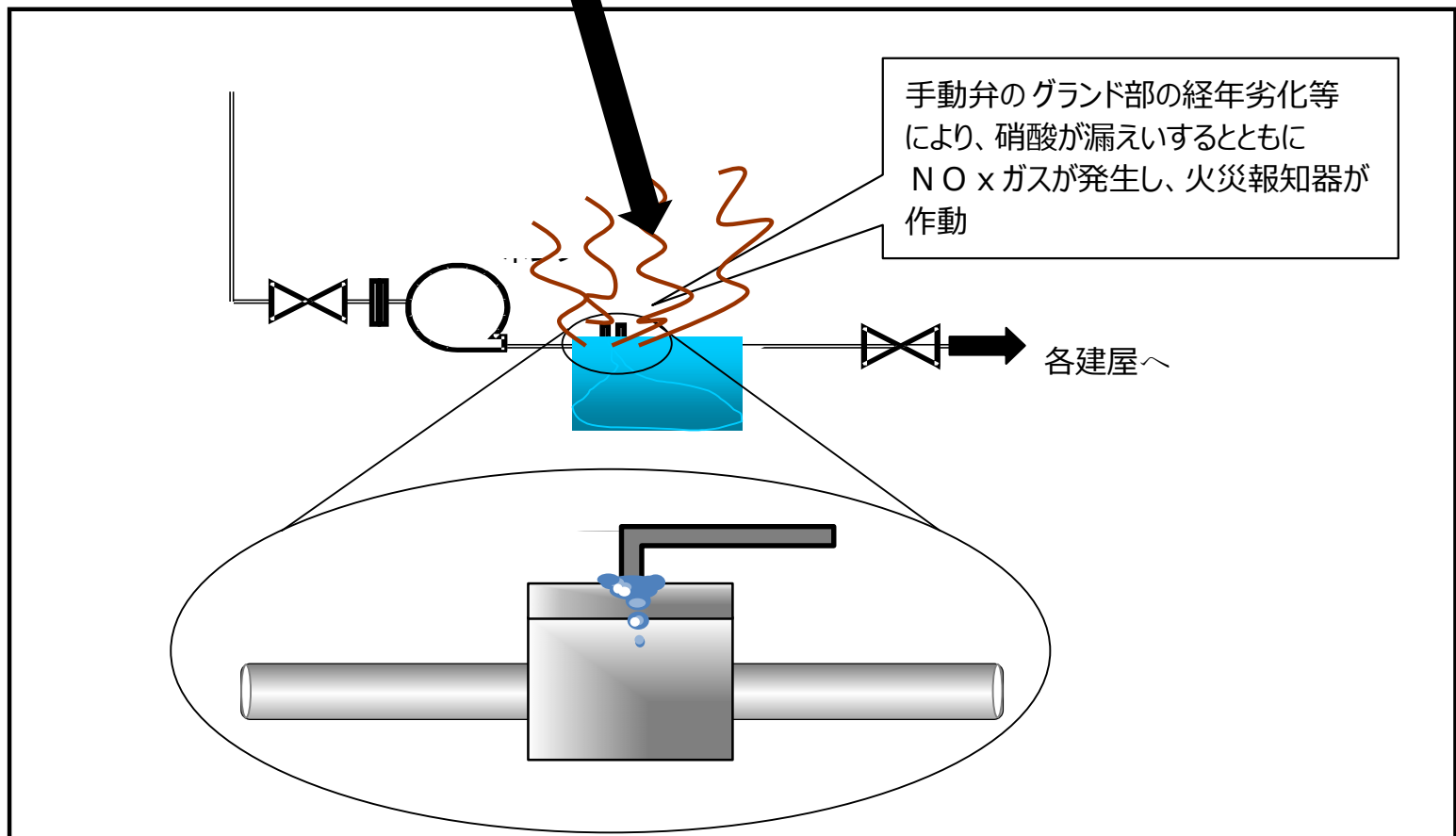
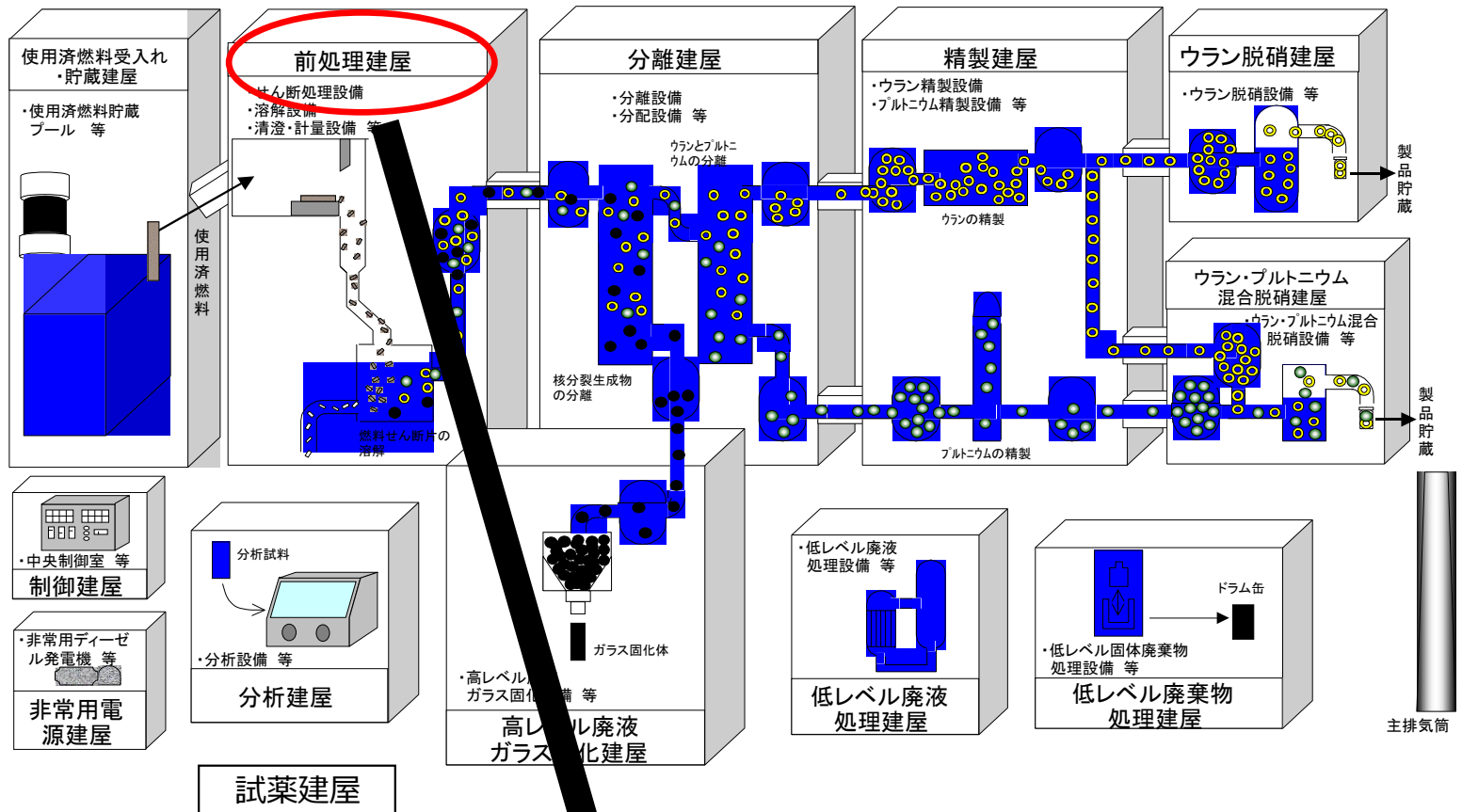
事象分類別 (b. 漏えい)

2-07. 硝酸受入中における手動弁からの硝酸の漏えい

事象の概要																		
(1)発生場所：機器	前処理建屋：試薬建屋から硝酸受入れ貯槽への試薬供給手動弁																	
(2)設備の概要	前処理建屋内において使用する硝酸（13.6規定）を貯蔵し、建屋内に供給する設備。 なお、硝酸は空気中で酸化反応し、異臭を伴うNOxガスを発生する性質を有する																	
(3)発生の状況	硝酸の受入中																	
(4)概要	前処理建屋内で硝酸（13.6規定）を受入中に、非管理区域の手動弁グランド部の経年劣化等により硝酸が漏えいし、多量のNOxガスの発生を検知した火災報知器が作動。 ＊他の建屋も含め同種の機器においても、同様な漏えいの発生が予想される。																	
(5)原因	運転を継続する中で生じる経年劣化。																	
事象による影響																		
(1)工場外への影響	工場外への影響は生じない。 放射性物質を取り扱わない非管理区域内における事象およびそれに伴う除染・復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。																	
(2)安全性への影響	安全上の問題は生じない。 異臭の発生または火災報知器の作動により硝酸の漏えいを発見し、直ちに移送を停止することからこれ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。																	
(3)作業員への影響	作業員への影響は生じない。 漏えいした硝酸の回収および漏えい箇所の復旧作業には、定められた防護具を着用するとともに、作業計画に沿って作業を進めることにより、放射線による作業員への影響は生じない。																	
(4)他工程への影響	他工程への影響は生じない。 漏えい箇所の復旧に伴い、当該システムを使用した硝酸の受入が停止するが、各建屋では使用済の硝酸を再利用していること、また、各建屋毎に硝酸を貯蔵しており、必要なときには供給可能であることから、他工程への影響は生じない。																	
対応の概要	1.試薬建屋の硝酸の移送を停止し、漏えいした硝酸を回収する。 2.当該手動弁の分解点検を行う。 3.当該手動弁の分解点検後、耐圧試験等を行い、健全性を確認した後、定められた操作手順に従い運転を再開する。																	
公表区分	休祭日を問わず速やかに公表（夜間の場合は翌朝）（プレス公表）																	
連絡区分*	<table><tr><th colspan="3">トラブル情報</th><th colspan="3">運転情報</th></tr><tr><td>A 情報</td><td>B 情報</td><td>C 情報</td><td>ごく軽度な機器故障</td><td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td><td>不適合等</td></tr></table>						トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報															
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等													

＊：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

事象概要



復旧方法

故障した部品の交換により復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

当該機器を停止して復旧
当該設備

